

# 止血劑(副腎有效成分人工合成アドレナリン)「ボスミン」ニ就テ

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2017-10-04 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/2297/30769">http://hdl.handle.net/2297/30769</a>

## 止血劑(副腎有効成分)「ボスミン」ニ就テ

柳澤秀吉

「ボスミン」ハ余ノ發明ニカ、ルモノデアリマシテ、彼ノ「アドレナリン」ト全ク同一物デアアル。「アドレナリン」ハ本來高峰博士ノ世界的發明ニヨツテ、牛ノ副腎カラ容易ナラザル苦心ノ下ニ製出セラル、モノデ、余ノ「ボスミン」ハ石炭酸カラ化學法ヲ以テ合成スルモノデアアルガ故ニ「ボスミン」ト「アドレナリン」トハ人工的ナルト天然ナルトノ區別アルニ過ギナイ。然シ其ノ結果ニ就テ論ズレバ人工ヲ以テ天然ヲ制セントスル近代科學ノ進歩デ云ハ、科學ノ本能ヲ遺憾ナク今ヤ充分ニ發揮シ得ラル、モノト信ゼラル。

吾人ハ「アドレナリン」ノ化學的合成法ニ關スル文獻ヲ求ムルニ敢テ少クナイガ、然シ人體内ノ既存スル「アドレナリン」ハ果シテ一般ニ化學者ガ從來カラ想像スルガ如ク試験管内デ頗ル動的ナ化學作用デ例ヘバ金屬ト硫酸トデ出來タモノデアアラウカ論ズル迄モナク動物體內ノ「アドレナリン」ガ如何ナ方法デ出來ルカ、今日未ダ不明デハアルケレドモ體內ノ「アドレナリン」ハ極メテ微妙ナ生物的作用デ而モ頗ル靜的ナ方法デ出來テ且ツ利用セラル、モノデアアルニ相違ナイ。

「アドレナリン」ノ化學的合成法ニ關シテハ幾多ノ非難ガアリマシタガ、私ハ幸ニ石炭酸ヨリ誘導シタ「アドレナリン」ヲ白金ニ類スル「パラヂウム」ノ觸媒作用デ而モ動的ナ發生機水素ニヨラズ、普通ノ瓦斯狀水素デ極メテ靜的ナ方法デ還元シテ「アドレナリン」ノ合理的的合成法ヲ完成シタノデアアリマシタ。其方法ノ比較ヲ論及スルハ餘リ専門的ニ渡ルカラ今ハ申シマセン、然シ私ノ發明ハ要スルニ科學的方法デ極メテ純粹ニ「アドレナリン」ヲ製造スルノデアリマス。此ノ點ニ就テハ副腎ノ複雑セル幾多ノ成分中ヨリ抽出スル「アドレナリン」ニ比シ如何ニ容易デ而モ純粹ニ得ラルルカ

ガ一般ニ了知セラレマシタ。

「アドレナリン」ハ其性質上「デリケート」ナモノデアルト信ゼラル、ケレドモ、化學的並ニ細菌學的ニ純粹ナモノハ分解若クハ變質シ難イモノデアル。其證ニ絶對純粹ノ水素ト酸素ハ相混合スルモ容易ニ恐ルベキ爆發ガ起ラナイ。

「エーアシップ」ノ恐ルベキ危険ヲ醸ス所以ノモノハ水酸ニ素ノ化合シテ出來タ水分ノ混在ガ主因デ熱電氣塵埃等ノ器械的ノ刺戟ガ爆發ノ助因デアルト確認セラレテ居ル。私ノ經驗上合成シタル「アトロピン」、「コカイン」、「アコイン」等モ亦化學的並ニ細菌學的ニ純粹ナモノハ容易ニ變質シ難イ事ヲ認メマシタ。サレバ「ボスミン」ハ純粹デアルガ故ニ從ツテ耐久性ニ富ミ、理化學的及ビ生理學上一定不變ニシテ奏効確實デアル。是等ノ事ヨリ論ズレバ天然「アドレナリン」其他「ズブラレニン」ニ比シ優ルトモ劣ルコトガナイト信ゼラレル、且ツ又「ボスミン」ハ國産ナルガ故ニ常ニ新鮮ナモノヲ提供シ得ルヲ以テ特色ト致シマス。